

造園連ながの瓦版

日本造園組合連合会長野県支部
広報委員会
<〒386-0027長野県上田市常盤4丁目4-23>

「第36回 全国都市緑化信州フェアを終えて」

緑化フェア対策委員長 有澤 二三明

6月16日雨模様の中53日間の祭りが閉幕となりました。平成29年6月第1回フェア実行委員会が松本で行われ、その時に大まかな庭園出展などの内容説明がありました。

県支部では各分会単位での庭園の出展を考えて総務委員会において支部長より是非参加しようとの挨拶がありました。その後各分会において協議していただき30年9月には6分会と青年部が申込みしていただき県支部あげて信州フェアに参加となりました。

今回庭園出展コンテストにはフェア開催最高の59作品が参加されました。分会での参加の外に企業でまたグループで参加と多くの組合員さんが協力いただきましたこと、本当にありがたくうれしく思いました。今回の経験を是非生かして仕事に、そして組合活動にとご活躍いただきたいと願っております。

また開会翌日から行われた女性造園技術者技能競技大会には長野県より2チーム参加いただき上小分会の藤本エクステリアさんの酒井さんと田中さんが急造のペアチームでしたが庭園デザイン、作庭と見事な作品を作られ審査員特別賞を受賞されました。本当におめでとうございました。この時の9作品は会期終了まで展示され大変好評であったそうで次期開催地でも実施されるそうです。

終わりに皆様のご協力に感謝いたします。



「緑化フェアを終えて」

青年部長 曾根原 智秋

青年部は、暮らしの庭巡りとコンテストに出展させていただきました。手探りでの共同作業で不安や焦り、プレッシャーがありました。様々な気持ちが行ったり来たりする中、一つの目標のためにみんなが全力になっていく姿を見て深く感動しました。

細かいところにも時間と知恵を絞り、クオリティを上げていく。決して妥協しない皆さんの姿勢に、職人魂を感じました。そして何より本当に楽しかったです。



その結果一人の小さな力が大きな力となり形になりました。青年部だからこそできたと思います。コンテストの結果は残念ながら一番ではなかったけれども、最後の最後まで全力でやりぬいた皆さんの姿勢は、私の一番の思い出となって心に残りました。

この機会を与えてくださった皆様に本当に感謝したいと思います。最高の思い出ありがとうございました。